

## SYS 及び SYSTEM ユーザーだけによるデータベースの独占使用

手順 1.

静止準備

```
ALTER SYSTEM QUIESCE RESTRICTED ;
```

手順 2.

待ち

アクティブなトランザクションが完了するまで待機する

手順 3.

静止状態

この間は、SYS、SYSTEM ユーザーだけがトランザクションを開始できる

手順 4.

通常状態への変更

```
ALTER SYSTEM UNQUIESCE ;
```

## 新規のログインが出来ない様にする方法

SYS 及び SYSTEM ユーザーだけによるデータベースの独占使用

### 方法 A )

制限モードへシステムを変更する

```
ALTER SYSTEM ENABLE RESTRICTED SESSION;
```

制限モードを解除する

```
ALTER SYSTEM DISABLE RESTRICTED SESSION;
```

※ 通常稼働中の Oracle インスタンスを途中で制限モードへ変更しても、  
接続済のユーザーに対しては、操作の制限は何も行われぬ

### 方法 B )

システムの起動を『制限モード』で行う

```
STARTUP RESTRICT
```

制限モードを解除する

```
ALTER SYSTEM DISABLE RESTRICTED SESSION;
```